

大使館からのお知らせ

【お知らせ】黄熱予防接種証明書の有効期限の変更（生涯有効）について

WHOは、10年であった黄熱予防接種証明書（イエローカード）の有効期限を2016年7月11日より生涯有効に延長することを勧告しました。これに伴い、日本で発行される黄熱予防接種証明書の有効期限も1回の接種で生涯有効となります。この変更は、これまでにワクチンを接種した人にも適用されます。有効期限の過ぎた証明書であっても手続きをすることなく、7月11日以降は自動的に生涯有効の証明書となりますので、大切に保管するようお願いいたします。

コスタリカにおいては上記変更が適用されておりますが、各国によって同証明書の取扱いが異なる場合もあり得ますので、事前に渡航先の国での取扱いについて確認しておくことをお勧めします。

また、コスタリカは黄熱に感染する危険のある国には該当していませんが、該当国・地域からコスタリカに向けて出国する際には黄熱予防接種証明書（イエローカード）の提示が義務となっており、提示がない場合はコスタリカへの航空機への搭乗が拒否されることがありますので、出張や旅行等で該当国・地域へ渡航される場合はご注意ください。

【参考】

○外務省スポット情報：黄熱予防接種等について（2016年リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック開催中にブラジルへ渡航予定の方へ）

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo.asp?infocode=2016C047>

○黄熱に感染する危険のある国に関する情報等（厚生労働省検疫所HP）

<http://www.forth.go.jp/useful/yellowfever.html>

【治安情報】当地新聞より（殺人事件、強盗事件など、毎月の主要な事件について概要をお知らせしています。）

「12歳と15歳の少年、強盗に襲われて死傷」

6月3日午前10時、アラフエラ県サン・カルロス市において、12歳の少年と従兄弟の15歳の少年がバイクで買い物に出掛けたところ、25歳と35歳のニカラグア人の兄弟である強盗に襲撃され、バイクを強奪されそうになった。少年らが抵抗したところ、強盗は12歳の少年の首にロープをかけ、バイクで数十メートル引きずった後に首を絞めて殺害した。15歳の少年も首を絞められて意識不明の重体となった。強盗犯はバイクで逃走したが、後にニカラグアで逮捕された。

「44歳の男性、強盗に銃撃されて死亡」

6月4日午前3時、プンタレナス県プンタレナス市において、44歳の男性宅に5人組の強盗が押し

入り、抵抗した男性と銃撃戦となり男性が死亡、夫人が負傷した。強盗犯は盗難車で逃走した。

「16歳の少年、銃撃されて死亡」

6月4日午後9時15分、サンホセ県サンホセ市ラ・ウルカ地区において、16歳の少年が交際相手の少女と歩道を歩いていたところ、バイクで近付いてきた男に銃撃されて死亡した。死亡した少年には前科があり、事件後に17歳の少年が自首した。

「26歳の白タク運転手の男性、銃撃されて死亡」

6月15日午後2時、サンホセ県デサンパレードス市において、26歳の白タク運転手の男性が病院で客を乗せて走行中にバイクで近付いてきた2人組の男に銃撃されて死亡、乗客の77歳の男性も巻き込まれて死亡した。死亡した白タク運転手には前科があり、犯罪絡みで殺害されたとみられている。

「26歳のコロンビア人男性、銃撃されて死亡」

6月16日午後8時30分、エレディア県エレディア市において、26歳のコロンビア人男性が銃撃されて死亡した。死亡した男性は2014年に殺人容疑で取調べを受けたことがあり、犯罪絡みで殺害されたとみられている。

「空き巣犯、銃撃されて死亡」

6月18日午後12時45分、エレディア県サラピキ市の民家において、2人組の空き巣犯と鉢合わせした26歳の男性が犯人を銃撃し、犯人のうち1人が死亡、1人が負傷した。

「25歳の男性、銃撃されて死亡」

6月20日午後6時20分、サンホセ県サンタ・アナ市において、25歳の男性が銃撃されて死亡した。男性と一緒にいた双子の兄弟が背中を撃たれて負傷、友人の男性も脚を撃たれて負傷した。

「強盗に抵抗した男性、銃撃されて死亡」

6月20日午後2時15分、サンホセ県サンホセ市ラ・カルピオ地区において、車に乗っていた男性が強盗に携帯電話等を奪われそうになり抵抗したところ、銃撃されて死亡した。

「22歳の男性、銃撃されて死亡、近くにいた女性が流れ弾で負傷」

6月23日午後3時30分、サンホセ県サンホセ市アティージョ地区にあるショッピングモール付近のバス停にいた22歳の男性が、バイクに乗った2人組の男に銃撃されて死亡した。近くにいた女性が流れ弾を受けて負傷した。現場には銃弾6発の薬きょうが残っていた。

「14歳の少年と19歳の男性、15歳の少年に刃物で切りつけられて死傷」

6月23日午後8時、カルタゴ県カルタゴ市において、14歳の少年と19歳の男性が15歳の少年と口論になり、15歳の少年が2人を刃物で切りつけた。19歳の男性はまもなく死亡し、14歳の少年も負傷した。15歳の少年は事件後に自首し、逮捕された。

「麻薬組織の男性2名、銃撃されて死亡」

6月28日夜、カルタゴ県ラ・ユニオン市において、麻薬組織に属する32歳の男性宅に複数の男が押し入り、拷問して麻薬の隠し場所を白状させた後、銃撃して殺害した。男らは麻薬の隠し場所となっていた鶏小屋から18包の麻薬を持ち出し、小屋の所有者である52歳の男性を殴打し、50メートルの崖下に突き落とした。この男性は一命は取り留めたが、重傷を負った。さらに、7月1日には、サンホセ県アラフエリータ市において、26歳の男性が死体で発見された。死体は頭部を銃撃され、手足をロープで縛られていた。男性はカルタゴ県在住で、28日に殺害された32歳の男性の仲間であった。

以上

◆ 大使館では皆さまからの情報提供をお待ちしています。◆
TEL: (506)2232-1255 FAX: (506)2231-3140
E-mail: japon-consulado@sj.mofa.go.jp (大使館領事班)
または eriko.nishida@mofa.go.jp (西田)まで